

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 其他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防

ボーリング名	Bor-3	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 29.1052"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和元年12月 2日～ 令和元年12月 6日	東経	132° 31' 04.4982"
調査業者名		主任技師		現代場人	コア鑑定者
ボーリング責任者		使用機種	東邦D-0	エンジン	ヤンマー-NFD13
ボーリング責任者		ポンプ	東邦BG-3B		
孔口標高	TP 87.98m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	9.00m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 鉛直 90°		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内試験	削孔月日	
											深度 - N 値 図		N 値 (m)	深 度 (m)	100mm毎の打撃回数					50回の貫入量
	87.28	0.70	砂混り砂質土	砂混り砂質土		淡灰			深度0.20mまで細粒の有機質砂質土。草根が多く混り、小礫点在。以深、細～中粒の砂質土で、φ5～30mmの風化した角礫が混じる。	12/ 4 1.40	0	1.70			50	50	70	1.70	P-1	
1										12/ 2 2.40	50	2.38	10	10	30	230	2.38	P-2	○	12/ 2
2						褐			長さ5～48cmの礫片や転石が混在する。礫・転石の基質は花崗岩。岩質は概ね硬く、所々、軟質な礫片・転石を挟む。礫・転石間は細～中粒の砂・砂質土で、φ3～30mmの角礫・亜角礫が混じる。	12/ 4 4.60	9	3.15	3	3	9	300	3.15	P-3	○	
3				転石混り砂質土	rd4					12/ 4 4.60	19	4.15	6	6	7	19	4.15	P-4	○	12/ 3
4						淡灰				12/ 8 6.10	50	5.60	50	50	40	5.60	P-5	○		
5						淡灰					50	6.23	28	22	50	160	6.23	P-6	○	
6						淡灰褐					50	6.41	60	60	150	6.41	P-7	○	12/ 4	
7	80.98	7.00	花崗岩	花崗岩					中硬岩相当の花崗岩。長さ5～23cmの岩片又は棒状。岩質は中硬岩で、コブ表面はやや粗い。ハンマーの打撃で濁音を発し、割れ目に沿って開口する。全体に水平方向の割れ目が多く、所々、傾斜45度及び90度の割れ目を挟む。		50	7.00	50	50	40	7.00			○	
8											50	8.00	貫入不能	50	0				○	
9	78.98	9.00									50	9.00	貫入不能	50	0				○	12/ 6